



平成26年5月14日

各 位

上場会社名 昭和鉄工株式会社
 代表者 代表取締役社長 山本駿一
 (コード番号 5953)
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 一木和弘
 (TEL 092-651-2933)

連結業績予想と実績の差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成26年2月5日に公表した平成26年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。
 また、特別損失の発生につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,400	0	100	420	49.80
今回修正予想(B)	11,126	△72	12	107	12.73
増減額(B-A)	△274	△72	△88	△313	
増減率(%)	△2.4	—	△87.5	△74.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	10,128	△29	△49	49	5.86

修正の理由

平成26年3月期通期の業績は、前回発表予想と比べますと、営業利益、経常利益および当期純利益は下回っております。営業利益および経常利益は、連結会計年度末にて熱処理炉の売上計上分285百万円を返品処理したため減少したものであります。更に当期純利益につきましては特別損失を計上しましたので、大きく下回っております。

特別損失の発生について

当社は機器装置事業(サーモデバイスBU)において、新タイプの液晶表示装置製造用の熱処理炉を受注しております。受注以降その納入に向けて、製造委託会社(KOREA PIONICS Co.,Ltd.)と協力し、顧客の仕様に沿うべく製造を続けてまいりましたが、技術的な課題解決に時間を要した結果、一部の製品が当社において販売不可能になる製品が発生するとともに、顧客の生産計画に多大な影響を与えております。顧客への損害賠償等について関係当事者と協議をしておりますが、販売不可能な製品に係るたな卸資産廃棄損、既に発生した対策費用及び契約書等に基づき必要と見込まれる損失額を合わせて「サーモデバイス事業関連損失」として特別損失に373百万円計上しております。

以 上